志手原校区 地域づくり協議会だより

第4号
発行
平成31年4月1日
志手原校区地域づくり協議

住民アンケートのまとめ

～ たくさんの声を頂きました。
ありがとうございました!!! ～

昨年末、自治区全世帯　校区老人クラブ会員　志手原校園 PTA 会員の皆様を対象に実施しました「住民アンケート」の集計結果がまとまりましたので、校区住民の皆様にお知らせいたします。

住民の皆様から頂きました貴重なご意見は、これから進めます「地域づくり計画」の策定の中に生かしてまいります。

- ○ 3部門合計で658件の回答を頂き、回収率は66%でした。
- ○ 集計は年代別、団体別、家族構成別、地域別、性別別で行いましたがあまり大きな違いがありませんでしたので、以下全体と年代別集計結果を基にアンケートをまとめました。
  （集計円グラフは、特に差異がある場合のみ年代別も記載しています。）

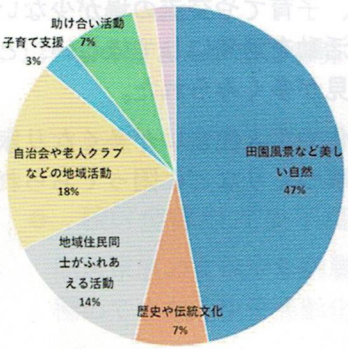
【集計結果と特徴】

1．家族構成について

- 家族の年代は50歳以上が7割を占め、70歳代が最も多く全体的に超高齢化が進んでいる。
- アンケートに回答頂いたうち、一人住まいの方は87世帯（内60歳以上の方は62世帯）、二人住まいの方は167世帯（内60歳以上の二人世帯は110世帯）と、高齢者の一人住まいや高齢者世帯が増えている。

2．志手原校区の自慢できるところは

自慢できるところ（全体）



- 田園風景など美しい自然を挙げている方が6割以上占めている。
- その他、住民同士のふれあいや地域活動と答えた方が多く、年代別にも大きな差はみられない。

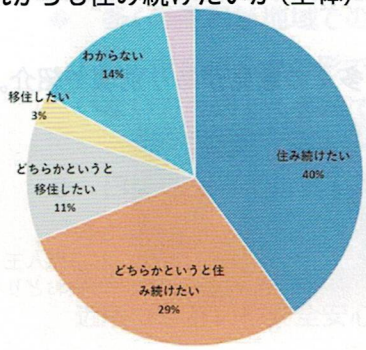
花山院より望む
有馬富士

風のミュージアム

志手原校園
ふれあい
もちつき大会

3．　これからも住み続けたいか、また住み続けるために必要な事について

これからも住み続けたいか（全体）

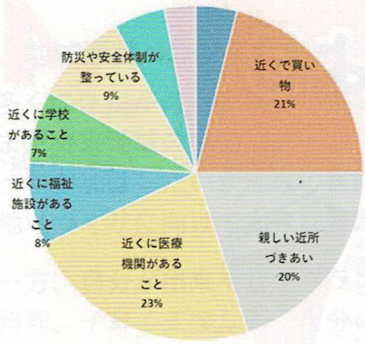


- 住み続けたい、どちらかと言うと住み続けたい、と答えた方は7割を占めている。
- 住み続けるためには、普段の生活に直接かかわる買い物や医療機関がある事や、近所づきあいなど住民のふれあい、防災対策など安全安心な地域が大切と考えている方が多い。
- 若い世代では、近くに学校があることが重要

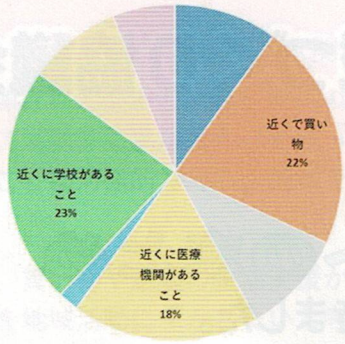
有馬富士公園
と羽束山

住み続けるために重要なこと

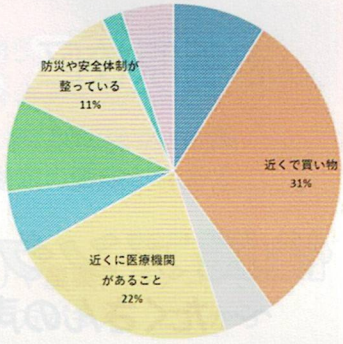
全体



20~30代

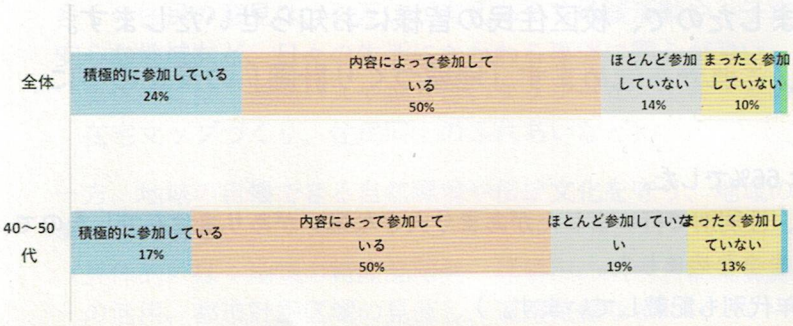


40~50代

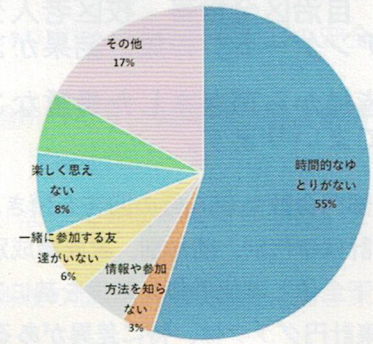


4. 地域活動への参加の状況と参加していない理由について

地域活動への参加



参加していない理由(全体)

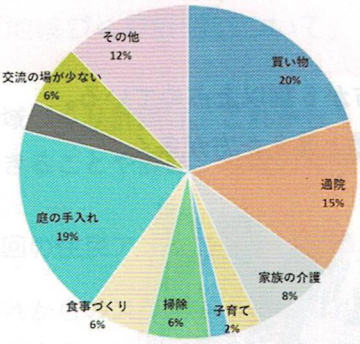


- 内容によっては参加している人は約半数。積極的に参加している人は24%あり、併せて7割以上の方が何らかの形で地域活動に参加されている。
- 参加していない方（ほとんど、又は全く）は24%で、中堅世代（40~50代）で参加が少ない。
- 参加していない理由では、仕事等時間的なゆとりがないが半数を占めている。その他の理由では、楽しく思えない、一緒に参加する友達がいないから、といった声もあり、みんなが参加したくなるような工夫が必要である。

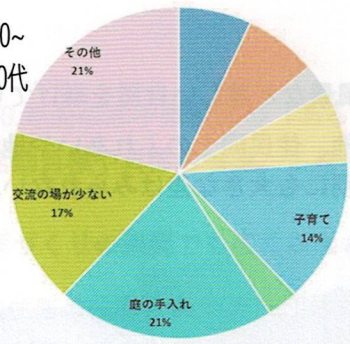
5. 今、日常生活で困っていることは

日常生活で困っていること

全体



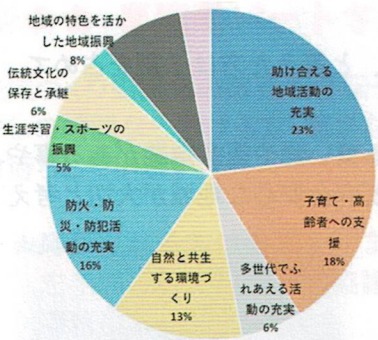
20~30代



- 買い物や通院、庭の手入れに困っている方が多く、中でも殆どの家が戸建てのため庭の手入れも大きな負担となっている。
- 若い世代では、子育てや交流の場が少ない、学校のクラブ活動を活発にしてほしい、といった個別意見が多くみられた。
- その他、高齢化や1人住まいが多くなり家族の介護や掃除食事づくりなどに困っておられる方もある。

6. 地域の将来像（こうあってほしい姿について）を考える

地域の将来像(全体)

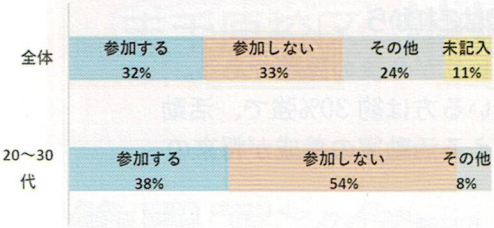


- お互いの助け合いや地域活動が充実している、子育てや高齢者への支援がある、防災など安全安心な地域、多世代のふれあい、自然と共生する環境と答えた方が多くを占めている。
- また、農業などの地域の特色を生かした地域振興や、伝統文化の保全継承など、魅力のある地域を挙げた方も多い。
- その他、巡回バスなどの交通機関の整備など多くの意見があり別項で紹介。

香下神楽

志手原八王子神社
田楽おどり

7.　これから地域を支えるためボランティアなどの活動に参加しますか



・参加する、参加しない、と答えた方はほぼ同数の３割強である。
中でも若い世代で参加しないと答えた方が多く見られる。
・参加しない理由としては、時間的余裕ない、体調が悪い、退職すれば考える、他にしているなど。

8.　7.）で参加すると答えた方ができそうなことは

・買い物や送迎、掃除などの生活支援や高齢者の話し相手
・農業や野菜作り
・花作りや地域の行事
・子育て見守り、パソコン、料理、写真、スポーツ

など多岐にわたり 165 名の方から回答を頂きました。中でも 60 代前後の男女から多くの回答を頂きました。

9.　その他自由意見のまとめ

地域づくり協議会について

・地域計画が広く住民に共有され地域全体でゴールに向かって進められたらいい
・団体組織を整理統合し行事も見直し、労力や金銭負担を軽減してほしい
・身の丈にあった実施可能な計画づくりを
・誰もが参加したくなる情報発信をタイムリーに

少子化　子育て　高齢化対策など

・巡回バスや乗り合いタクシーなどの公共交通の整備
・誰もが気軽に集まれ交流できる場や中学生の居場所づくり
・空き家の活用や市街化区域の見直しによる若い人の居住

地域おこし　安全対策など

・避難経路マップや高齢者在宅マップの整備
・地域の特産品開発や観光資源の発掘
・たくさんの人が訪れる旗艦施設の設置
・空き家を利用した集客や道路整備

など 172 名の皆さんからご意見をいただきました。

アンケートのまとめ

◆　校区全体として少子高齢化が進み一人暮らしの高齢者も増えている

同居家族の有無や年齢層から、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が多く、一方若い世代のみの世帯は極めて少なく少子高齢化が進んでいる。

◆　ふるさとで自慢できることは美しい自然とふれあい

美しい自然環境、住民同士のふれあいや様々な地域活動など、「美しい自然と住民同士のつながり」と感じている方が大半を占めており、次世代に引き継いでいく志手原校区の地域財産である。

◆　多くの住民が地域での行事等に関心を持っている

７割の方が何らかの形で参加されており、ふるさと意識や協働の思いも高いが、これからは参加していない方も楽しく参加できる工夫が必要

◆　日頃の生活では買い物や病院への通院などが困りごと

今の困りごととこれから住み続けるために必要なことはほぼ同じ。
地域性から、買い物や病院、学校がある事など日々の生活に直接つながる便利な施設がある事のほか、近所づきあいや安全安心への取り組みが大事と考える方が多い。

◆　地域活動への住民参加は多いが、ボランティアなどによる積極的な関わりはこれから

多くの住民が何らかの形で地域活動に参加されているが、若い世代の関わりが今後の課題である。また将来地域の中で、様々なボランティア活動等に参加したいと思っている方は約 30%強で、活動への参加はしたいが地域の世話役になることは消極的である。地域を支える活動家の養成が将来の地域づくりに向けて大きな課題である。

一方、自分が出来そうなボランティアは、買い物や送迎の生活支援から、花作りや農業、パソコン、料理、子育て支援など、自分の得意分野を地域活動に生かしたいと考える住民の方が多く、これからの地域づくりの戦力として住民の力を生かしていく仕組みづくりが大事である。

◆　将来の地域は、誰もが安心して暮らせる生活環境、支えあい、元気なふるさとづくり

多くの住民の意見は、お互いが支えあえる地域活動や、子育て高齢者への支援、防災対策などの安全安心な地域など、日々の生活にかかわる事項に関心が強い。
（具体的には：巡回バスや乗り合いタクシーなど公共交通の整備、居場所づくり、避難経路や高齢者在宅マップづくり、住民同士のふれあいなど）

一方、地域の自慢できる自然環境や伝統文化を守り、地域の特色づくりなど元気な地域を作りたいと考える方も多い。
（具体的には：地域の特産品開発、休耕田の活用、観光資源の発掘、地域の旗艦施設の整備、空き家の活用、都市計画区域の見直し、道路整備など）

○　以上のとおり多くのみなさんは、将来豊かな自然と住民同士のふれあいを通して、安心で安全な暮らしや、農業や歴史文化といった貴重な地域財産を生かした元気な志手原校区であってほしいと考えられています。

またこれらの実現に向けては、現行の地域運営体制の見直しや、将来の時代にあった仕組みづくり、住民共通の目標（地域計画）づくりなど貴重なご意見をいただきました。

「地域づくり計画について」

地域づくり計画は、これから 5 年・10 年先の志手原校区の「あるべき姿」を描くもので、計画の内容は、地域の自慢できることや課題、地域の将来像、活動目標や具体の事業、これらを実現するための方策や組織などで構成します。

今回の住民アンケートをはじめ、計画づくりの過程でも広くみなさんの意見を聴く機会を設け、計画に反映します。

これからのスケジュールは、7 月頃に住民の公募委員や構成団体からの委員による「策定委員会」を設置し、具体の計画内容の検討に入ります。必要に応じその分野に精通された方や興味のある住民の皆さんにも参加を呼び掛けます。計画素案がまとまれば運営会議や総会を経て来年 5 月頃にまとめる予定です。

あなたも是非計画づくりに参加して下さい。お待ちしています!!!

❀❀❀ 事務局パートさん募集中 ❀❀❀

地域づくり協議会の事務を手伝って頂ける方を募集しています。
少しの時間なら働ける方・簡単な事務ができパソコンが使える方
お待ちしています!!

★応募される方はまず下記までお電話ください。
志手原校区地域づくり協議会
事務局長　小前　聡
☎　０９０－７０９３－６９６５

＊勤務地＊
スポーツクラブ21志手原クラブハウス
（志手原小内）
＊勤務時間＊
週 2 日程度、1 日 3 時間程度（日時など応相談）
＊仕事の内容＊
広報紙や会議資料の作成、電話受付など
＊募集〆切＊　採用決定時
＊時給＊　880円